

スイートコーン

イネ科：メキシコ～南アメリカ北部

栽培暦

月	2			3			4			5			6			7			8			9			10		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
主 な 作 業	夏 ど り																										
	秋 ど り																										

■栽培のポイント

1. デントコーン等の異品種が栽培されているほ場の近くでの作付けは避ける。
2. 播種時の地温は 15℃以上を目標にする。
3. 出穂後は土壌を乾燥させないよう管理する。
4. 雌穂は 1 株につき一本残して摘み取る。

■品種・種子量 夏どり：ハニーバンドムピーター235、ゴールドラッシュ、味来 390。

秋どり：キャンベラ 90、ピーター610。

種子量は a 当り 0.70。

■本畑の準備 別系統との隣接の栽培は、硬化、甘味の低下やバイカラー種の着色など品質の低下を起こすことがあるので、ほ場の選定に注意する。隣接する場合は開花期を 10 日以上ずらすよう栽培する。土壌適応性は広いが、腐植が多く肥沃な土壌が良い。

施肥 播種の 10 日ほど前までに、堆肥、基肥を全面散布し、20 cm の深さに耕起する。

うねづくり うね幅 150 cm (床幅 90 cm) にうね立てする。過湿には弱いので、排水の良いほ場では高うねにする。

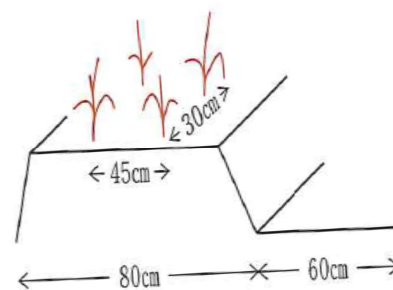
マルチ張り 降雨後、またはかん水後、135 cm 幅のグリーンマルチもしくは赤外線マルチをかける。夏どりでは、地温を確保するために播種の 1 週間前にはかけるようにする。

施肥例

(a 当たり)

うねづくり

肥料名	基肥	追肥	備考
完熟堆肥	400kg	—kg	成分量
苦土石灰	15	—	窒素 2.2kg
ようりん	2	—	リン酸 1.8
CDU-S682	10		加里 2.0
磷硝安加里 S604		4	



■**播種** 地温が低いと発芽が著しく遅れるので、地温が 13℃以上になったのを確認してから小さめに穴を開け、直ちに播種する。栽培密度は株間 30 cm、条間 40 cm の 2 条植えとする。一穴に 3~4 粒を 2 cm 位の深さに播き、覆土したのち軽くかん水する。

■**本畑管理**

間引き 発芽後、本葉 5 枚までに生育の良い株を一本残して間引く。残す株の根を傷めないように、ていねいに抜き取るか、鎌で地際から刈り取る。

分けつ・雌穂の管理 砂丘地や乾燥地では分けつをした方が収量が増えるが、一般ほ場ではそのまま放置する。雌穂は上位節の一番大きい穂を残し、他はかき取る。

追肥 本葉 4~5 枚頃と雄穂が出て来る時期の 2 回に分けて追肥する。粒肥の場合は通路に、液肥は根元に施すが、茎葉にかからないように注意する。

かん水 出穂期以降の乾燥は雌穂の肥大を妨げるので、土壤水分を保つように管理する。排水の良いほ場ではうね間かん水をしてよい。

病虫害防除 アワノメイガは、茎や雌穂に侵入してからでは薬剤の効果が落ちるので、葉の裏や雌穂の表面にかすり状の食害が見えた時点で防除する。その他、アブラムシの発生も多いので注意する。

■**収穫** 絹糸の抽出後 22~24 日後、絹糸の変色を目安に試し取りする。果粒が淡黄色になり、光沢が出た頃が収穫適期である。適期をのがすと商品価値が低下するので注意する。収穫は雌穂の温度が上がらない早朝に行う。